だいすき！ SAKAHOGI

CS新聞

「ふるさと・坂祝学習」真っ最中

【中学校】◆通学路落ち葉はき

例年実施している中学校通学路の落ち葉はき活動を１月５日（金）に行いました。今回は、協働本部長さんとふるさと・絆委員長さんのはたらきかけで、地元企業と保護者や生徒にも協力依頼の声がかかりました。参加いただいた企業は、栗山組、小西砕石、木辺産業、伊藤建設、泉水道、湯下集材の６社です。ブロワーなど機械を持参してくださったおかげで、例年より早くきれいにすることができました。ご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございました。地域の皆様の心を感じて、今後も安全に登校してくれることを願っています。

坂祝中生 安全に通学を

地元住民らが歩道清掃

坂祝町のコミュニティー・スクール委員ら地域住民が5日、坂祝中学校周辺の通学路を清掃した。

坂祝中周辺の通学路で落ち葉を集める参加者＝坂祝町深萱で

高台にある同中の通学路には冬場、大量の落ち葉があり、登下校の生徒らが足を滑らせる危険があることから、安全に3学期を迎えてもらおうと始め、今年で5回目。

清掃には委員のほか、教員や生徒、地元建設業者ら計34人が参加。坂祝幼稚園から同中西側までの町道で、竹ぼうきやブロワーを使って歩道の落ち葉を集めて清掃した。（近藤晶）

【小学校】◆２年生「トマトマート　シーキューブ見学」

１月２３日（火）に２年生が「町たんけん」の学習でシーキューブを見学しました。説明を聞いた後、トマト収穫の体験をさせてもらえました。試食もできて「あまい」という声があがっていました。もらったケースいっぱいにトマトを入れて、ふたが閉まらずにとまどっていた子もいました。当日の朝には、中京テレビの番組「ドデスカ」で工場のことが紹介され、You Tuber「トマトのお兄さん」のチャスさんが来てくださって一緒に収穫することができました。最後にはチャスさんの新曲が披露され、子どもたちは、歌に合わせて楽しく踊っていました。

《見学後の子どもたちの感想》
- トマトは苦手だけど、シーキューブのトマトなら食べられると思いました。
- がんばってトマトを作っていることがわかりました。

【小学校】　◆国際教室

小学校では、通常の学級で困り感がある外国人のお子さんを対象に、取り出しをして学習を行っています。教科によっては、在籍学年の学習だけでなく下学年の漢字を学んだりしていますが、慣れない日本語の中で一生懸命に学んでいます。今学期も、担当の先生など学校の要望に応じて多文化共生委員会の梅田千枝子さんや三品俊宣さんが応援に来てくださいました。子どもたちは、授業終了後やりきった充実感で学級に戻っていっていました。

【多文化共生委員会】◆すまいるひろば　「おひなさまの製作」

１月２０日（土）に中央公民館２階で「すまいるひろば」が開催されました。この日は、３月３日のおひなまつりに向けて貯金箱「おひなさん」の製作をしました。ここには、年中さんや年長さんから６年生まで多学年にわたっての参加があります。ボランティアさんたちに教えてもらいながら、自分の好きな色付けをしたり、千代紙をはったりして完成させました。製作を通じて日本文化の一つであるおひな祭りを学ぶことができました。

【小学校】◆３年生　「まつりばやしについて知ろう」

３年生は「さかほぎ名人になろう」ということで地域について学んでいます。１月３１日（水）には「まつりばやしについて知ろう」という学習で黒岩祭囃子保存会の方にお越しいただきました。黒岩の地域の名前の由来や祭りについての説明を伺った後、平安中期から伝わっている“渡りばやし”と五穀豊穣を願った“黒岩ばやし”を聞きました。その後、実際に太鼓をたたいたり、篠笛の吹き方について学んだり、復活させた獅子に触れたりすることができました。子どもたちからは「太鼓をたたけて楽しかった。」「笛はきれいな音だった。」などの感想が出ました。